

## 里山保全に市民参加を促すシステム作りに向けて

### 趣旨

印西市の大きな魅力の里山自然が、農業の衰退の中、失われ、緑はあっても生き物は少ないという状況が生まれている。里山の豊かな生態系を守る活動は、成果を目の当たりにすることができるので達成感があり、自然の中で汗をかくことは健康にもよいことを市民に実体験してもらい、里山保全活動に参加を促すシステムを作る。

システム作りの第一段階として、次年度、試みの単発事業を実施する。

### 提案理由

印西市では、これまで里山保全への理解を深めるため、自然探訪を実施してきている。今後これを発展させて、保全活動に参加する市民を育てる事業を実施する。当面は、その第一段階として、印西市の管理するフィールドで、生き物観察などと合わせて作業体験する行事を実施する。

主催 環境保全課（印西市環境市民会議 提案グループが企画実施の中心となる）

場合によっては、そのフィールドの保全団体の協力を求める

開催回数 年2回～3回

対象 小学生以上から大人まで 20人程度

### 内容例

| 項目                            | 時期  | 場所   | 内容と*お楽しみ  |
|-------------------------------|-----|------|---|
| ホタルを守ろう<br>ごみ拾いとホタル観察会        | 7月  | 別所   | ごみ拾いやホタルが発生する水路の落ち枝拾いを実施して、ホタルの飛ぶ環境について考える。<br>その後、観察会。 |
| 里山の生きものを知ろう<br>雑木林の枝拾いと生きもの観察 | 11月 | 草深の森 | 里山の生きものが生活する雑木林を観察し、手入れの必要性を考える。<br>下草刈りの準備として落ちた枝を集める。 |
| 川を守ろう<br>川の外来植物の実態と駆除         | 12月 | 亀成川  | 生態系に悪影響を及ぼすナガエツルノゲイトウなどの外来種を学習し、駆除に参加する                 |

## 参考平成 29 年度に向けての提案

### ステップ1 保全活動体験

市の管理する場所において、里山を楽しみつつ、作業参加し、保全体験する。

主催 環境保全課 実施主体 市の管理する場所で活動している市民団体に協力を求める。

開催回数 年4回程度

開催場所 市が管理する公園や緑地などのうち、里山保全を実施している団体の協力を得られる場所とする。

対象 子どもから大人まで 20人程度

#### 内容例

観察と組み合わせたゴミ拾いについては、どの団体のフィールドでも、どの時期でも可能。

作業内容は、保全目的のものとする。\*ミニ知識と観察会などをセットとする

| 項目                         | 時期               | 場所   | 内容と*お楽しみ  |
|----------------------------|------------------|------|---|
| 春の花を楽しむ<br>外来植物駆除、もしくはゴミ拾い | 5月～6月            |      | 在来種を駆逐するセイタカアワダチソウを引き抜き、在来の草花を保護する。<br>*春の花の観察会   |
| ホタルを楽しむ<br>ゴミ拾い            | 5月<br>または<br>12月 | 別所   | ミヨのごみ拾いと枝払い<br>ホタルが発生する水路のごみと枝や落ち葉を掃除する。*ホタル観察会招待 |
| 秋の木の実と虫の観察と落ち葉かき           | 11月              |      | 刈り取った草や落ち葉を集める<br>*秋の実や虫の観察会                      |
| 冬の雑木林の手入れとビオネストづくり         | 1月               | 草深の森 | 雑木林に落ちた枯れ枝を集める。<br>*集めた枝でビオネスト(オブジェ)を作る。          |

### ステップ2 里山保全を応援する市民の組織の設置

実施主体 環境保全課もしくは市民活動支援課

里山保全作業に参加したい市民が、特定の団体に参加するのではなく、都合の良いときに作業に参加するシステムを作る。

#### 内容

里山保全団体の作業のうち、多くの参加を求める作業については、あらかじめ登録し、参加者が自由に参加できるシステムとする。

①市のホームページに作業内容、日時などの詳しい内容をアップし、あとは参加者と団体がやりとりする。

②保全活動参加希望の個人がメール登録し、お知らせをメールで配信するシステムとする。後者は、市役所の仕事が増えるが参加しやすい。1か月に一度のニュース配信とするなどとし、手間を少なくする。参加のやりとりは①に同じ。

### ステップ3 (ステップ2に追加)

里山の草刈り推進対策

里山の草刈りを推進するため、有償ボランティア制度を事業・予算化する。